

社会福祉法人やまびこの会

令和 3 年度事業報告

はじめに

令和 3 年度はコロナウイルス感染症による臨時休園はありませんでした。しかし、職員、園児に感染者が確認され、幼児クラスの園児の大多数が濃厚接触者に特定され、登園できなくなることが 2 度起こりました。幸いにも園内で感染を広げてしまうような事態にはならず済んでいます。今後も続いていくコロナ禍の中で、いかに子どもたちの健康と生命を守っていくのが課題となります。

令和 2 年度はコロナの影響により理事会や評議委員会が開催できない時期がありましたが、令和 3 年度は Zoom を活用し、オンライン開催とすることで、感染拡大を防ぎつつ、開催することができました。オンライン開催とすることで移動時間の負担がなくなり、以前よりも出席率が向上したことも大きなメリットとなりました。

10 月より利用を開始した保育サポートシステムも、多少のトラブルはありながらもだんだんと使いこなせるようになってきました。これまで紙に印刷して配布していた園だより等も、園メールをうまく活用し電子化することで印刷にかかる費用、配布の手間を削減し、省資源にもつながっています。今後も ICT をうまく活用し、保育の質の向上、経費削減につなげていきたいと思えます。

コロナの影響でできなくなったことをどうやって元に戻していくのか、あらたにできるようになったことをどうやってさらに発展させていくのか、主任会を中心に、職員全体で考えていきたいと思えます。

令和 3 年度の課題に対して

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き幼児クラスへの保護者の入室を制限しました。また、行事の中止や規模の縮小を行い、感染リスクを抑えました。

令和 3 年度はコロナの流行が広がり、中長期委員会を開催することができませんでした。令和 4 年度は Zoom を活用して開催するようになりたいと思えます。

厨房機器の入れ替えについては令和 3 年度に一部実施を目指していましたが、ICT の導入等を優先したため、行うことができませんでした。

理事、監事及び評議員選任・解任委員会の改選を行いました。

法人の理念

児童福祉施設として、無認可時代からの保育の経験と人々とのつながりを生かし、入所の園児だけでなく、地域の家庭への子育て支援を行います。保護者や地域の住民のさまざまな要求や必要性を把握し、それに応えられる施設となることを目標にします。また、他の団体とも協力しながら、地域の福祉についても、社会福祉法人としてできることを探りつつ、地域に貢献していきます。

評議員

名前	住所	職業	任期
常田秀子	国立市富士見台	大学教授	令和2年1月18日～ 令和6年6月
菊池美智	府中市幸町	元府中市公立保育 所保育士	令和2年1月18日～ 令和6年6月
高橋尚人	府中市白糸台	大学職員	令和2年1月18日～ 令和6年6月
城戸典子	府中市紅葉丘	児童文学者	令和2年1月18日～ 令和6年6月
三田恵美	府中市白糸台	支援学校教諭	令和2年1月18日～ 令和6年6月
甲田直巳	府中市美好町	建築事務所代表	令和2年1月18日～ 令和6年6月
坂根智春	府中市白糸台	卒園児保護者	令和2年1月18日～ 令和6年6月

評議員選任・解任委員

氏名	住所	職歴	任期
長田真紀子	府中市朝日町	やまびこの会監事	令和3年8月16日～ 令和7年6月
星直子	狛江市岩戸南	やまびこ元職員	令和3年8月16日～ 令和7年6月
萩原敦美	府中市押立町	やまびこ職員	令和3年8月16日～ 令和7年6月

法人の役員

役職	名前	住所	職業	任期	
				初回	今回
理事長	古泉明彦	府中市多磨町	やまびこ 職員	平成 29 年 6 月	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
理事	勝又真弓	府中市白糸台	やまびこ 職員	平成 29 年 6 月	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
理事	麥倉豊	府中市多磨町	自治会役 員	令和 1 年 6 月	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
理事	古泉久美子	府中市多磨町	やまびこ 職員	平成 20 年 10 月 1 日	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
理事	名古屋友佳	府中市紅葉丘	やまびこ 職員	平成 29 年 6 月	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
理事	山口高男	府中市白糸台	設計事務 所代表	令和 3 年 8 月 15 日	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
監事	井上礎幸	東村山市萩山町	税理士	平成 20 年 10 月 1 日	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月
監事	長田真紀子	府中市朝日町	看護師	平成 20 年 10 月 1 日	令和 3 年 8 月 15 日～ 令和 5 年 6 月

第三者委員

氏名	住所	任期
田川幸子	小金井市中町	令和 4 年 4 月～ 令和 6 年 3 月

※令和 4 年 4 月 1 日時点

定時評議員会

開催月	審議内容
7月	令和2年度事業報告 令和2年度決算報告

理事会

開催月	議事内容
7月	令和2年度事業報告 令和2年度決算報告 次期理事、監事候補者の推薦について 就業規則の改訂（宿舍借上げ、産前休業） 定時評議員会の日程及議題とその概要について
8月	理事長の選出 評議員選任・解任委員の選出 就業規則の改訂（産前休業）改善状況報告書の提出
9月	パートタイム職員賃金改定 給与規定の改訂 段階号俸表の改訂
12月	令和3年度補正予算案 就業規則の改訂 給与規程の改訂
3月	令和3年度第2次補正予算案 令和4年度事業計画 令和4年度予算案 給与規程の改訂

事業内容

○認可保育所の運営

借入金返済について

やまびこ保育園開設にあたり、施設整備のために、福祉医療機構から5,000万円、府中市から2,000万円の借り入れを行いました。20年返済計画で、毎年、福祉医療機構、府中市への返済を行っています。令和3年度の返済金は3,890,418円（医療機構3,008,720円、府中市881,698円）で、令和3年度末の残金は、24,142,677円（医療機構18,410,000円、府中市5,732,677円）です。

やまびこ保育園

令和3年度事業報告

保育理念

かけがえのない一人ひとりの子どもたちに、全職員の深い愛情をもって保育にあたります。子どもたちにそそがれた愛情は、子ども自身が「自分をたいせつだ」と思える心を、そしてその先に「ひとを大切に思える」心を育みます。子どもたちの心に生きることの喜びを育てます。

保育目標

- 自分で考え、判断し行動できる子
- 感性の豊かな子
- 一人ひとりを尊び、仲間と協力し平和と民主主義を求められる子
- 働くことの喜びや尊さ、大切さがわかる子

保育方針

- 太陽、土、水など自然に十分触れながら、自然界への感動を通し、心も身体ものびのびと育つようにする。
- 異年齢の子どもたちや、障がいをもつ子どもが触れ合い、交流することを大切にしながら、豊かな人間関係が育つようにする。
- 園全体の保育士、その他の職員が、子どもへの共通理解の上にたった連携を心がけ、園全体の子どもその時々々の状況に対応できるようにする。

事業内容

- 延長保育
- 障がい児保育
- 一時預かり保育（定期利用保育、一般保育）
- 保育相談
- 地域子育て支援
 - ・子育てひろば・子育て講座（親子クッキング、和太鼓ワーク、AED講習、観劇）

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育者数	園児数定員	備考
ひよこ	0歳	3名	6	
あひる	1歳	2名	10	
うずら	2歳	2名	10	
すずめ	3歳	1名	10	
ひばり	4歳	1名	12	
つばめ	5歳	1名	12	
合計		10名+フリー	60	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 292日
25日	23日	26日	26日	25日	24日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25日	24日	24日	23日	22日	26日	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児組（月1回）、1歳児組以上（年2回5月 11月） 身体測定（毎月1回）
歯科健診	全園児（年2回6月 12月）

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、良く考え判断し、創造性豊かな、心身共に健康な子どもを育てる。

オ 主な行事

うんどう会は、4歳児、5歳児のみを府中第十小学校の体育館にてクラス別に行った。

おたのしみ会は、クラスごとに行い、今年度は保護者の参加はなしとし、その様子はDVDにして全世帯に配付した。

卒園式は5歳児と保護者2名のみでの参加として行った。

年長、ひばりの遠足は今年度も公共交通機関を利用せず、歩いての遠足とした。

カ 食事

[1] 目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項・薄味、和風献立に心がけた。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がけた。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がけた。
- ・レシピの配布や、お迎え時に話すなど保護者との連携を密に心掛けた。

「食べることは生きること」の冊子を作成し、新入家庭に配付した。

離乳食から幼児食、食育として取り組んでいること、食事の考え方や、家庭でのヒントになるような1冊として作成したものを配付した。

[2] 栄養管理

毎日の献立の栄養計算、保健所への月報の提出（年2回）を行った。また、やまびこ保育園の献立をホームページなどで、紹介した。アレルギーや宗教上など個別の対応を行った。

[3] 食育

毎月ー予定献立表の配付（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食・延長補食）をした。

掲示板ー食に関わる情報を提供した。

給食日より「ごはんちょうだい」ーやまびこ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、毎月の献立表と一緒に配付した。

食を考えるー栄養士はできるだけ、保育室へ出向き、子どもたちの喫食状況を把握し、保育者へアドバイスするようにした。0歳児は子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、担当と栄養士が話し合った。また、月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んできた。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場としてきた。

展示食ー玄関に、その日の給食の見本を展示した。より見やすいように展示場所を変えた。

[4] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認した。

○調理従事者の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調乳室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器は洗浄後殺菌庫にて保管、原材料・調理済み食品の保存（2週間）した。

[5] 栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	20	15	212	2.6	125	0.25	0.28	20
3歳以上児	596	23.9	17.9	248	2.3	135	0.31	0.36	20

[6] 離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めた。

<離乳食の進め方>

- ①食べ易い形態で・・・子どもの状態にふさわしい形態で与えた。手づかみ食べを十分に
し、噛める子どもに育てることを大事にしてきた。
- ②栄養と食品のバランスを考えて・・・ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質
類・野菜の三種類を合わせるように工夫した。
アレルギーをおこしやすい卵・牛乳については、使用しない献立にした。その分を他の
食材で補えるように工夫した。
- ③薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理することを大事にし
た。

[7] アレルギー・特別食に関して

アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により
除去解除できるように考えた。なお、アレルギー児の対処に関しては、保護者からの申
請書と医師の指示書によって行った。また、今年度も宗教上により配慮を保護者からの
申請を受け、実施した。

ク 安全管理

交通安全教育（5月）

非常災害時の避難訓練 毎月1回 引き渡し訓練の実施（9月第2金曜日）

不審者対応訓練（3月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	2名
事務長	1名（マイナンバー取り扱い事務責任者）
副主任	2名
保育者	20名
調理員	5名（栄養士含む）
看護師	1名
事務員	1名（マイナンバー取り扱い事務担当者）
用務員	3名
嘱託医	2名（非常勤）
非常勤、パート	若干名

- イ 健康管理
 - 健康診断 年1回（10月頃）非正規常勤職員も園負担で行った
 - 細菌検査 年12回（毎月実施）
- ウ 職員会議
 - ・職員会議 年間 12回
 - ・主任会議 隔週及び必要に応じて随時（理事長、園長、主任、副主任）
 - ・リーダー会議
 - ・給食会議毎月1回
 - ・行事打合せ会議 随時
- エ 研修・今年度も園外にての研修は少なかったが、オンラインでの研修も増え、参加しやすくなった。また、毎月の職員会議での園内研修も充実してきた。その園内研修をパートさんも日中に受けられるように設定した。
 - ・キャリアアップ研修
 - ・園内研修全職員（応急救護、人権及び虐待、保育内容、食育、保健など）
 - ・園外研修
 - ・リーダー研修
 - ・東社協主催研修
 - ・障がい児保育研修
 - ・府中市私立保育園園長会研修
- オ 退職・福利厚生
 - ・福祉医療機構退職共済制度加入
 - ・わーくびあ府中へ加入

2 施設管理

（1）事務関係

- ア 会計事務、管理事務
 - 会計責任者・・・古泉久美子
 - 出納担当者・・・間宮咲子
- イ 児童処遇事務
 - 衛生推進者・・・菊池雪子（健康管理）
 - 職務分担・・・職務分担表

（2）設備関係

- 施設改修及び設備の改善
 - ア 設備の安全点検
 - 主任会や職員会議において園舎内の環境を点検し、改善した。
 - イ 設備点検
 - 必要な設備については、業者へ点検を依頼した。
 - ・排水管は年2回の清掃を行った。

(3) 備品関係

ア 備品購入

園メール・登降園記録・出退勤管理のシステム導入をした。

イ 保育用品購入

保育システム ICT 化に向けて検討し、導入した。

ウ 給食用品購入

エ 固定資産物品購入・・・おさんぽ用バギーを購入

(4) 災害対策

ア 避難訓練

- ・自衛消防計画に基づき、毎月 1 回行った。
- ・引き取り訓練 9 月

イ 防災設備及び設備の点検委託

年 2 回（内、届け出 1 回）鹿島防災設備会社に委託
年 1 回・・・住崎設計事務所に委託

ウ 非常食糧の備蓄

- （全児童数＋全職員数）× 3 食 ×（3 日）分を備蓄する。

エ 不審者対応訓練・・・年 1 回実施した。

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参加

保育参加は 1 年中オープンとし、保護者の参加を受け入れる予定だったが、新型コロナウイルス感染が終息せず、今年度は行えなかった。

イ 個人面談

全園児の保護者との個人面談を必要に応じて、zoom にて行った。

ウ 保護者会

年 2 回行った。欠席の保護者とは、個人面談を zoom にて行った。

エ 公開保育

年 1 回予定していたが、新型コロナウイルス感染が終息せず、開催できなかった。

オ お知らせ

- ・園だより毎月 1 日に発行
- ・クラスだより毎月 1 日に発行
- ・保健だより毎月 1 日に発行
- ・献立表（離乳食・幼児・アレルギー）毎月 1 日に発行
- ・延長献立表毎月 1 日に発行
- ・ホームページに、保育の様子・地域支援活動・給食レシピ等を掲載
- ・行事や特別なお知らせなどは必要に応じて随時発行した。

(2) 苦情・意見・要望について

今年度は、新型コロナウイルス感染の対応についてのご意見と、園庭側の門扉を閉鎖したことについての苦情が寄せられた。2件とも、府中市保育課へもあり、そのことへの対応については、保育課とも相談した。門扉の件については、第三者委員にも通告があり、第三者委員とも話し合い、父母会にも入ってもらい解決にむけた。

また、近隣の方から、保護者の登園時の車利用について、ご意見を頂き、該当保護者には直接話をし、また、えんだよりにて、全保護者へ注意を喚起した。近隣の方へ、報告をした。

ア 第三者委員会

門扉の件について、何度も話し合いを行った。

4 地域社会との連携

新型コロナウイルス感染予防の対策を取り、方法や場所などを検討し、できるだけ開催できるように工夫して開催した。

ア 地域支援・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、活動ができなかったことが多い。

- ・子育てひろば・・・園外での活動を提供した。
- ・子育て講座は開催できなかった。
- ・赤ちゃんふらっと・・・地域の母子がいつでも利用できるよう受け入れていく。
今年度は、後半に利用者がいた。
- ・職場体験・ボランティアの受け入れは、今年度も中止となった。
- ・実習生の受け入れ・・・積極的に受け入れた。
- ・施設の活用及び開放・・・できなかった。
- ・世代間交流・・・できなかった。
- ・広報誌の発行を継続し、地域への宣伝を強化していく。(11月発行)

イ 小学校との連携・・・できなかった。

ウ 高齢者との交流・・・積極的にはできなかったが、隣の「うらら多磨」の方たちとは、日常のご挨拶をしている。